

令和6年度普及活動アルバム

北信農業農村支援センター

北信地域は長野県の最北端に位置し、管内市町村の多くが豪雪地域に指定されています。しかし、厳しい自然環境下にあっても、農業者と関係者の知恵と工夫と熱意により、地域の特徴を生かした先進的な農業が展開されています。

特に、水稻、果実、きのこ類は県内に留まらず全国をリードする産地となっています。

令和6年度は大きな霜や降雹、また、台風などによる被害はありませんでしたが、4月以降、秋まで気温が高く推移し、米、果実、野菜など多くの品目で生理障害が発生しました。加えて、カメムシ類やヨトウムシ類の大発生など害虫対策にも苦勞の多い年となりました。さらに、12月下旬の大雪により中野市、山ノ内町のぶどう棚が倒壊するなどの雪害も発生しました。

このような中、当支援センターとしては、新規就農者（令和6年53名（49歳以下））及び青年農業者の育成を主とした研修講座「北信州農業道場」を中心に、担い手の確保育成に取り組みました。県内他地域と比べて親元就農が圧倒的に多いことが特徴となっており、近年は、ぶどうの好調を反映して、果樹、特にぶどうでの就農が増えています。



【4月～2月】

「北信州農業道場」各講座に加え、新規就農者激励会、交流会を開催

新規就農者を主な対象として基本的な知識や技術力を養成し、経営の早期安定を支援するための講座を開催。

- ・「ぶどうコース」7回講座
受講生 18名（修了者5名）
- ・「野菜・花きコース」7回講座
受講生 13名（修了者9名）

農業全般の基本的な知識の習得を目的に5つの選択講座を開催。

- ・「農業機械」「鳥獣害対策」「農業簿記」「水稻」「ぶなしめじ栽培」
受講生 延べ127名

新規就農者激励会を8月に開催し、新規就農者24名、先輩農業者13名、関係機関等あわせて計58名が参加し、有意義な交流ができました。

12月には農業道場交流会を開催し、地域の青年農業者と道場受講者、関係団体等約50名が参加しました。農業青年クラブ員による意見発表・課題解決発表、青年クラブの活動紹介等が行われました。





【5月】 北信農業道場「野菜・花きコース」

野菜は、アスパラガスときゅうりの技術習得を、花きはしゃくやくの栽培とヒペリカム、ソリダゴの現地視察を行いました。

優良ほ場の視察研修は、出席率が高く、受講生からは好評でした。

多くの品目を紹介することで、複合品目としての導入を進めながら、必要な技術が習得できるよう今後も取り組んでいきます。



【6月～2月】（重点活動） 「ぶどう「シャインマスカット」の 好適樹相への誘導と省力化による 生産安定

管内でも「シャインマスカット」の栽培面積が増加しており、令和5年で300haとぶどう全体の約56%を占めています。

一方で、樹勢に問題があるほ場が散見されるようになり、減収や品質低下が課題となってきたことから、好適な樹相への誘導を進めました。



【8月】（重点活動） 「樹相診断指標」等の活用説明会

令和3年度から5年度までの3か年の管内の好適樹相園の調査結果をもとに策定した「北信版樹相診断指標」及び「施肥事例集」を周知しました。

樹相診断指標については、JAとも相談し、周知用チラシを作成して、講習会等で配付し、活用を呼びかけました。

今後も引き続き周知を図り、好適樹相へ誘導する意識の醸成を図っていきます。



**【8月】
北信農業道場「ぶどうコース」**

房切りや摘粒等の管理作業について、1回目・2回目は座学、3回目から7回目は現地での実技により講習を行いました。

先輩農業者のほ場視察では、先輩の苦勞や販路開拓方法等を聞くことができ、また、栽培や経営上の悩み相談にアドバイスをもらうことができ、受講生から前向きな声が聞かれました。



**【8月】
「北信州農村女性のつどい」の
開催支援**

今回で 22 回目を数えるつどいのテーマは「みんな（学校・家庭・地域）で食育～学校給食の今～」。

関係機関含め約 130 名の参加があり、学校給食の事例と地元食材の利用状況に係る 2 つの事例発表を踏まえて、食育の進め方について分散会がもたれ、地域食材の利用をどのように増やしていくか活発な議論が行われました。



**【6月、8月】
スマート農業技術の普及拡大**

担い手不足を補うため、スマート農業機械が開発され、より軽労化・省力的な作業が可能となってきています。コスト増大の導入課題はありますが、各地でスマート農業機械の実演会等が開催されています。

管内では、6月に飯山市内の水田での高精度無人田植機と農業用ドローンの実演会に約 100 名、8月の中野市内の果樹園での、リモコン式小型防除機、追従型運搬機等の実演会に約 50 名の農業者、関係機関の参加がありました。



**【8月、11月】
農村生活マイスター協会下高井支部
ではぼたんこしょう料理講習会、下
水内支部では牛乳・乳製品利用料理
講習会を開催**

農村生活マイスター協会下高井支部（会員 33 人）と下水内支部（会員 21 人）は、会員や支部間の交流を深めながら、農村生活の活性化に向けて活発に活動しています。

信州の伝統野菜「ぼたんこしょう」を使った“肉詰め”と“やたら”をつくる講習会や、牛乳・乳製品を利用したカッテージチーズのサラダ、クリームブリュレ等の料理講習会が行われました。



**【11～3月】
「地域計画」策定までの助言・指導**

各地域で農業者、農地所有者、地域住民等による話し合いの場が設定され、将来の農地利用のビジョン及び「目標地図」が策定されました。

＜R7. 3月末現在の策定数＞

中野市 10 地区、飯山市 9 地区、山ノ内町 5 地区、木島平村 13 地区、野沢温泉村 8 地区、栄村 4 地区



【3月】復旧支援を行ったぶどう棚

12月21日から22日にかけての大雪により、中野市・山ノ内町エリアにおいて、果樹類（ぶどう）を中心に樹体及びぶどう棚が倒壊する雪害が発生しました。

被害ほ場約 12ha のうち、希望する園地に JA グループの他、自治体からのボランティア（地域振興局含む）も加わり、復旧支援が4月初旬まで行われました。